

県内から4団体選出

国から支援 産業など活性化へ

地域再生の取り組みを国が支援する2009年度の「地方の元気再生事業」に、徳島県内から4団体の提案事業が選ばれた。それぞれ国の財政支援を受け、地域産業や商店街、観光交流などの活性化を目指す。

採択されたのは、県や徳島市、徳島バス、県商店街振興組合連合会など

でつくる「チャレンジとくしま賑わいプロジェクト」推進協議会と徳島大学、美郷商工会、NPO法人港まちづくりファンタジーハーバーこまつしま。

推進協は、徳島市中心

市街地の活性化と公共交通の再生が狙い。地元食材を活用した新しい徳島ブランドの料理を屋台販売するほか、空き店舗で徳島大学のサテライト教室を開催。市内一律の低料金バスの運行も連動させ、持続的な賑わいづくりとともにバスの利用促進につなげる。

美郷商工会は、石積み

段々畑、ホタルなど旧美郷村（吉野川市）の自然や地域資源を生かした体験プログラムを開発。地域の関係者による観光推進体制を強化して交流人口の拡大を図る。

再生に取り組み

ファンタジーハーバーは、遊休化している小松島市内のフェリーターミナルを、地域産品のアンテナショップや情報発信の核として活用。中心市街地と連携して同市全体の活性化を目指す。

再生事業は08年度創設され、09年度は全国で191団体（うち四国9団体）を採択。今回採択された県内4団体は、計画

実施に当たり800万、1500万円が事業費として交付される。